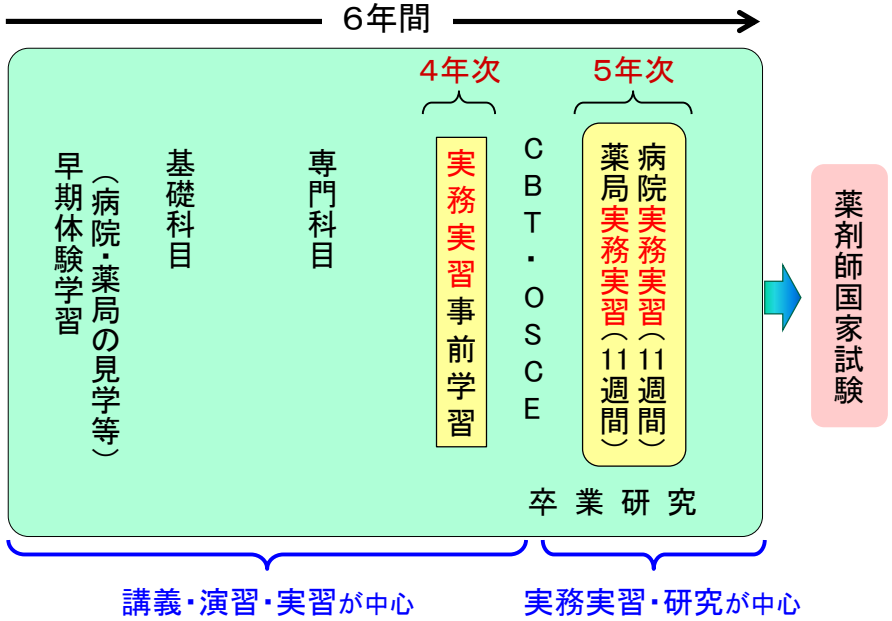
2024年度
実務実習に関する説明会

実務実習事前学習について

2024年1月21日
大柳賀津夫

薬学６年制教育



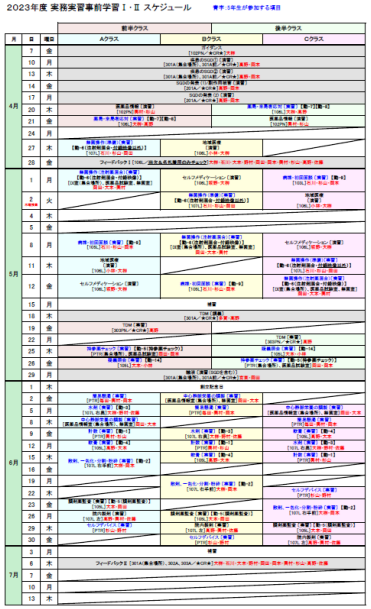
本学における実務実習事前学習（以下、事前学習）

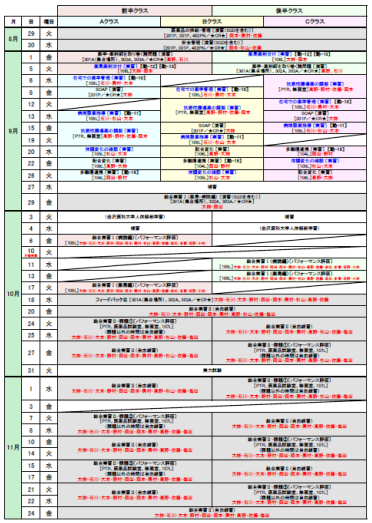
〔 科目名 〕

- ● 実務実習事前学習Ⅰ （前期科目）
- ● 実務実習事前学習Ⅱ （後期科目）

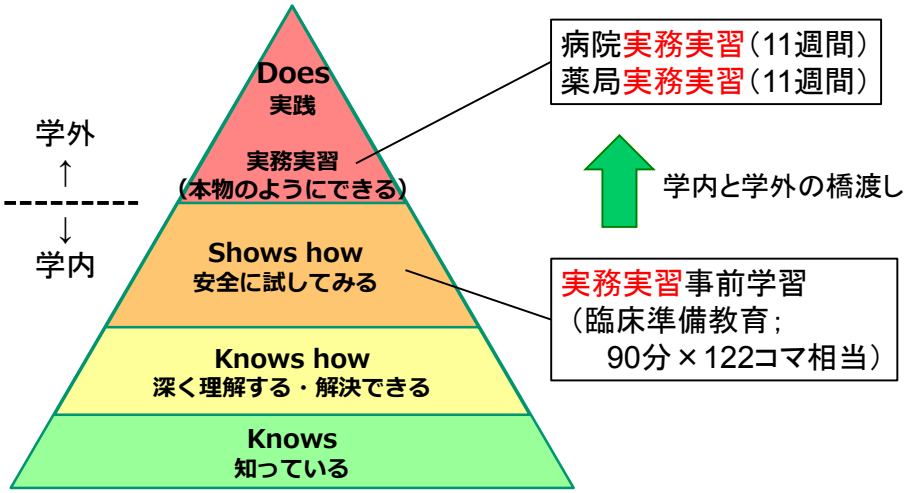
4月～11月にかけて、90分×122コマ相当を
2科目に分けて実施。
実習・演習時間は、実施日 1日あたり約3時間半。

事前学習の年間スケジュール



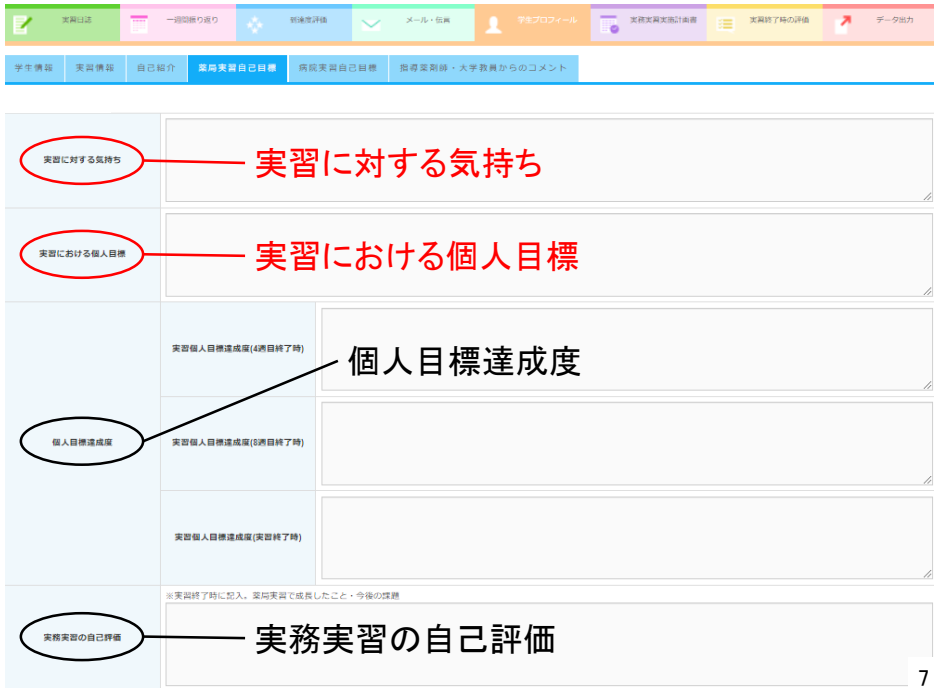


事前学習から実務実習へ



Millerのピラミッド

実務実習システムの画面 （学生プロフィール欄への入力項目）



事前学習から実務実習へ

実務実習システムの学生プロフィール欄へ入力する項目と同じ項目を事前学習の時に記入させ、実務実習につなげています。

◆自己紹介
◆将来の希望
◆目指す薬剤師像

事前学習Ⅱ終了時に書いた赤字項目の内容を実習システムへ入力します

→ 事前学習Ⅰ開始時、事前学習Ⅱ終了時 に記入

事前学習から実務実習へ

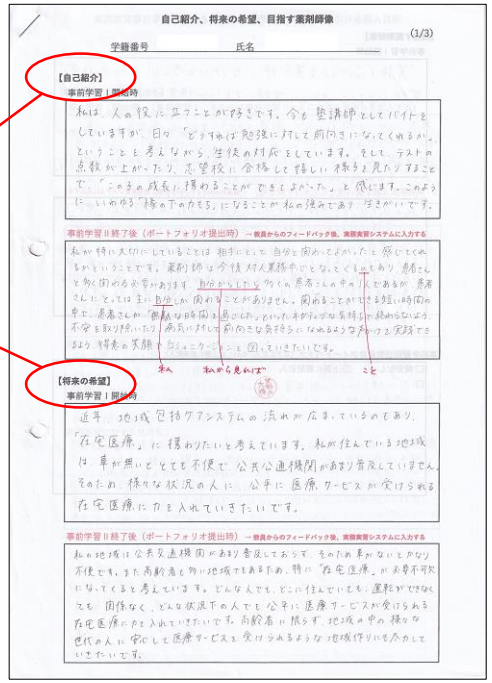
◆事前学習に対する気持ち（※ 実習に対する気持ち）
◆事前学習における個人目標（※ 実習における個人目標）

→ 事前学習Ⅰ開始時、事前学習Ⅰ終了時、
事前学習Ⅱ終了時(※) に記入

◆個人目標達成度
◆事前学習Ⅰ・Ⅱの自己評価

→ 事前学習Ⅰ終了時、事前学習Ⅱの途中、
事前学習Ⅱ終了時 に記入

（記入例）

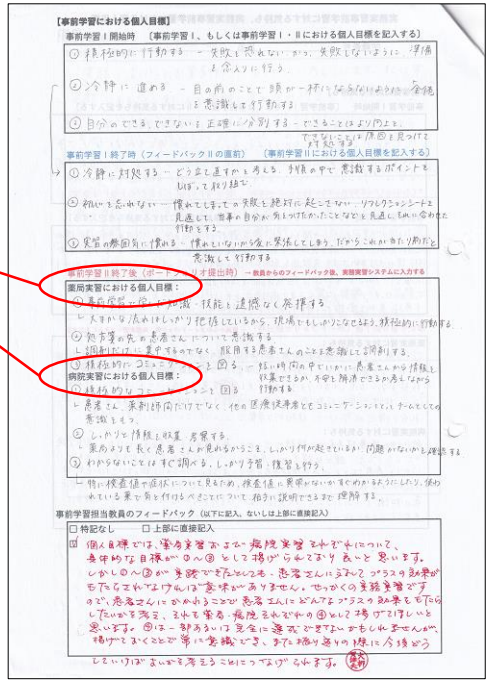


自己紹介

将来の希望

（記入例）

実習における個人目標



事前学習における 概略評価 とリフレクションシート

● 事前学習Ⅰ・Ⅱ共通の概略評価表

（確認方法：実務実習システム →「実務実習実施計画書」
→「(8)実習情報（実習施設から提供された情報）」→「ファイル添付」）

実務実習事前学習Ⅰ・Ⅱの概略評価表（パフォーマンス評価表）

観点	アウトカム	第４段階	第３段階	第２段階	第１段階
1-(1) 法令・規則等の理解と遵守	法令・規則等を理解した上で模擬処方せんを用いた調剤を適正に実施する。	模擬処方せんを用いて法的根拠に基づき一連の調剤を適切に行うことができる。	模擬処方せんを用いて法的根拠に基づき一連の調剤を行うことができる。	調剤で扱う処方せん、調剤録、疑義照会等を法令・規則の観点から具体的に説明できる。	調剤で遵守すべき基本的な法令・規則が説明できる。
1-(2) 処方せんと疑義照会	模擬処方せんを用いて適正に処方監査と疑義照会を実践する。	調剤シミュレーション（注射剤を含む）の中で、模擬患者への問診もしくは患者記録の内容から必要に応じて妥当な疑義照会が模擬処方医に対して適切に実施できる。	模擬処方せんを監査し、模擬処方医に対して疑義照会が適切に実施できる。	模擬処方せんを例に、処方せんの様式と記載事項、記載方法、処方薬の効能効果、用法用量等に関する不備が指摘できる。	処方監査および疑義照会に関する法令・規則、手順、留意事項等が説明できる。

質の変化　質の変化　質の変化

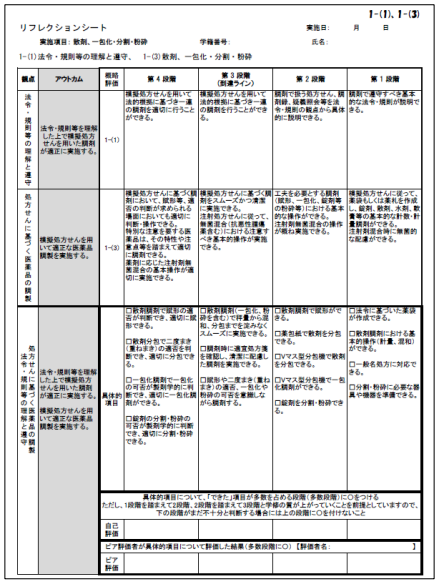
No.	SBOs
SBOs910	前）調剤業務に関わる事項（処方せん、調剤録、疑義照会等）の意義や取り扱いを法的根拠に基づいて説明できる。
SBOs914	前）代表的な疾患に使用される医薬品について効能・効果、用法・用量、警告・禁忌、副作用、相互作用を列挙できる。
SBOs915	前）処方オーダリングシステムおよび電子カルテについて概説できる。
SBOs916	前）処方せんの様式と必要記載事項、記載方法について説明できる。
SBOs917	前）処方せんの監査の意義、その必要性と注意点に

SBOs等に基づいて、観点毎に
本学で定めたアウトカム、
パフォーマンス評価表（ルーブリック）

薬学教育モデル・コアカリキュラム
（平成25年度改訂版）のSBOs

・リフレクションシート → 実習項目毎に評価、記入する

（表面）



リフレクションシート　1-(1)、1-(3)

実施項目：散剤、一包化・分割・粉砕　学籍番号：　氏名：　実施日：　月　日

1-(1)法令・規則等の理解と遵守、　1-(3)散剤、一包化・分割・粉砕

観点	アウトカム	概略評価	第4段階	第3段階（到達ライン）	第2段階	第1段階
法令・規則等の理解と遵守	法令・規則等を理解したうえで模擬処方せんを用いた調剤が適正に実施する。	1-(1)	模擬処方せんを用いて法的根拠に基づき一連の調剤を適切に行うことができる。	模擬処方せんを用いて法的根拠に基づき一連の調剤を行うことができる。	調剤で扱う処方せん、調剤録、疑義照会等を法令・規則の観点から具体的に説明できる。	調剤で遵守すべき基本的な法令・規則が説明できる。
処方せんに基づく医薬品の調製	模擬処方せんを用いて適正な医薬品調製を実施する。	1-(3)	模擬処方せんに基づき調剤をスムーズかつ清潔に実施できる。 注射処方せんに従って、無菌混合（抗悪性腫瘍薬含む）における注意すべき基本的操作が実施できる。	模擬処方せんに基づき調剤をスムーズかつ清潔に実施できる。 注射処方せんに従って、無菌混合（抗悪性腫瘍薬含む）における注意すべき基本的操作が実施できる。	工夫を必要とする調剤（賦形、一包化、錠剤等の粉砕等）における基本的な操作ができる。 注射剤混合時に無菌的な配慮ができる。	模擬処方せんに従って、薬袋もしくは薬札を作成し、錠剤、散剤、水剤、軟膏等の基本的な計数・計量調剤ができる。 注射剤混合時に無菌的な配慮ができる。
処方せんに基づく医薬品の調製・法令・規則等の理解と遵守	法令・規則等を理解したうえで模擬処方せんを用いた調剤が適正に実施する。 模擬処方せんを用いて適正な医薬品調製を実施する。	具体的項目	□散剤調剤で賦形の適否が判断でき、適切に賦形できる。 □散剤分包で二度まき（重ねまき）の適否を判断でき、適切に分包できる。 □一包化調剤で一包化の可否が製剤学的に判断でき、適切に一包化調剤ができる。 □錠剤の分割・粉砕の可否が製剤学的に判断でき、適切に分割・粉砕できる。	□散剤調剤で賦形の適否が判断でき、適切に賦形できる。 □散剤分包で二度まき（重ねまき）の適否を判断でき、適切に分包できる。 □一包化調剤で一包化の可否が製剤学的に判断でき、適切に一包化調剤ができる。 □錠剤の分割・粉砕できる。	□散剤調剤で賦形できる。 □薬包紙で散剤を分包できる。 □Vマス型分包機で散剤を分包できる。 □錠剤を分割・粉砕できる。	□法令に基づいた薬袋が作成できる。 □散剤調剤における基本的操作（計量、混和）ができる。 □一般名処方に対応できる。 □分割・粉砕に必要な器具や機器を準備できる。

具体的項目について、「できた」項目が多数を占める段階（多数段階）に○をつける
ただし、1段階を飛ばして2段階、2段階を飛ばして3段階と学修の質が上がっていくことを前提としていますので、下の段階が未だ不十分と判断する場合にはその段階に○を付けないこと

自己評価

ピア評価者が具体的項目について評価した結果（多数段階に○）【評価者名：　】

ピア評価

第1段階：不可
第2段階：最低到達ライン
第3段階：到達ライン
第4段階：実務実習レベル

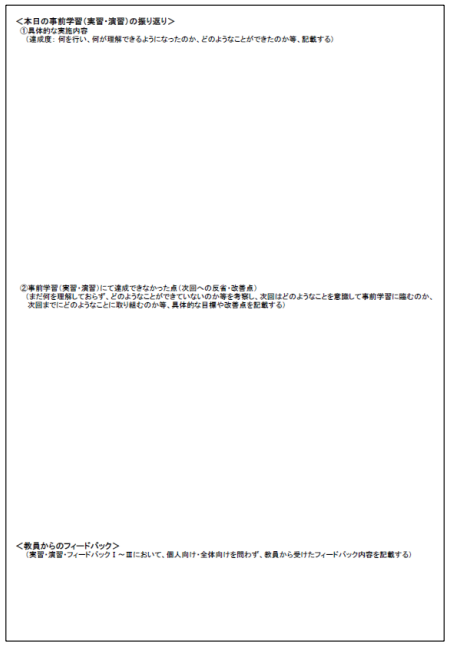
概略評価（ルーブリック）

具体的項目：
概略評価は複数の実施項目を含んでいる（またがっている）ため、当該実施項目では 具体的に何ができるようになればよいかを明示したもの（次スライド参照）

自己評価、ピア評価

観点	アウトカム	第4段階	第3段階	第2段階	第1段階
処方せんに基づく医薬品の調製	模擬処方せんを用いて適正な医薬品調製を実施する。	模擬処方せんに基づく調剤において、賦形等、適否の判断が求められる場面においても適切に判断・操作できる。特別な注意を要する医薬品は、その特性や注意点等を踏まえて適切に調剤できる。	模擬処方せんに基づく調剤をスムーズかつ清潔に実施できる。 例	工夫を必要とする調剤（賦形、一包化、錠剤等の粉砕等）における基本的な操作ができる。	模擬処方せんに従って、薬袋もしくは薬札を作成し、錠剤、散剤、水剤、軟膏等の基本的な計数・計量調剤ができる。
具体的項目		□散剤調剤で賦形の適否が判断でき、適切に賦形できる。 □散剤分包で二度まき（重ねまき）の適否を判断でき、適切に分包できる。 □一包化調剤で一包化の可否が製剤学的に判断でき、適切に一包化調剤ができる。 ⋮	□散剤調剤（一包化、粉砕を含む）で秤量から混和、分包までを淀みなくスムーズに実施できる。 □調剤時に適宜処方箋を確認し、清潔に配慮した調剤を実施できる。 □賦形や二度まき（重ねまき）の適否、一包化や粉砕の可否を意識しながら調剤する。	□散剤調剤で賦形ができる。 □薬包紙で散剤を分包できる。 □Vマス型分包機で散剤を分包できる。 □Vマス型分包機で一包化調剤ができる。 □錠剤を分割・粉砕できる。	□法令に基づいた薬袋が作成できる。 □散剤調剤における基本的操作（計量、混和）ができる。 □一般名処方に対応できる。 □分割・粉砕に必要な器具や機器を準備できる。

（裏面）



<本日の事前学習（実習・演習）の振り返り>
①具体的な実施内容
（達成度・何を行い、何が理解できるようになったのか、どのようなことができたのか等、記載する）

②事前学習（実習・演習）にて達成できなかった点（次回への反省・改善点）
（まだ何を理解しておらず、どのようなことができていないのか等を考察し、次回はどのようなことを意識して事前学習に臨むのか、次回までにどのようなことに取り組むのか等、具体的な目標や改善点を記載する）

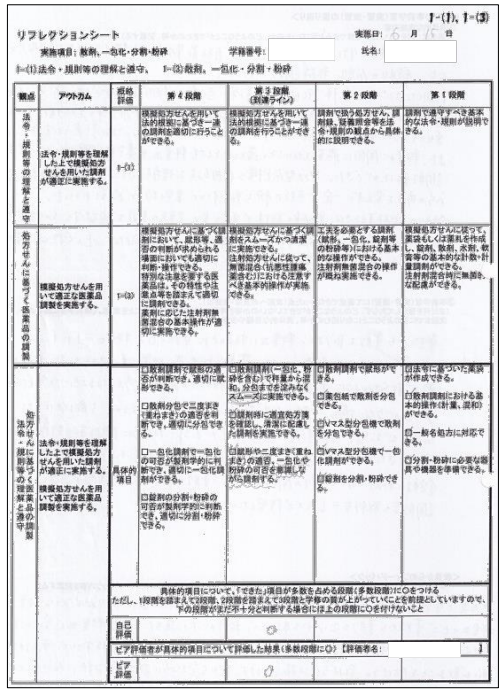
<教員からのフィードバック>
（実習・演習・フィードバック1～3において、個人向け・全体向けを問わず、教員から受けたフィードバック内容を記載する）

具体的な実施内容：
何を行い、何が理解できるようになったのか、どのようなことができるようになったのか等を記入する

達成できなかった点（次回への反省・改善点）：
まだ何を理解しておらず、どのようなことができていないのか等を考察し、次回はどのようなことを意識して臨むのか、次回までにどのような事に取り組むのか等を記入する

教員からのフィードバック：
教員からの形成的評価の結果、助言、注意等を記入する

（記入例）



リフレクションシート　1-(1)、1-(3)

実施項目：散剤、一包化・分割・粉砕　学籍番号：　氏名：　実施日：6　月　16　日

1-(1)法令・規則等の理解と遵守、　1-(3)散剤、一包化・分割・粉砕

観点	アウトカム	概略評価	第4段階	第3段階（到達ライン）	第2段階	第1段階
法令・規則等の理解と遵守	法令・規則等を理解したうえで模擬処方せんを用いた調剤が適正に実施する。	1-(1)	模擬処方せんを用いて法的根拠に基づき一連の調剤を適切に行うことができる。	模擬処方せんを用いて法的根拠に基づき一連の調剤を行うことができる。	調剤で扱う処方せん、調剤録、疑義照会等を法令・規則の観点から具体的に説明できる。	調剤で遵守すべき基本的な法令・規則が説明できる。
処方せんに基づく医薬品の調製	模擬処方せんを用いて適正な医薬品調製を実施する。	1-(3)	模擬処方せんに基づき調剤をスムーズかつ清潔に実施できる。 注射処方せんに従って、無菌混合（抗悪性腫瘍薬含む）における注意すべき基本的操作が実施できる。 薬剤に応じた注射剤無菌混合の基本操作が適切に実施できる。	模擬処方せんに基づき調剤をスムーズかつ清潔に実施できる。 注射処方せんに従って、無菌混合（抗悪性腫瘍薬含む）における注意すべき基本的操作が実施できる。	工夫を必要とする調剤（賦形、一包化、錠剤等の粉砕等）における基本的な操作ができる。 注射剤無菌混合の操作が概ね実施できる。	模擬処方せんに従って、薬袋もしくは薬札を作成し、錠剤、散剤、水剤、軟膏等の基本的な計数・計量調剤ができる。 注射剤混合時に無菌的な配慮ができる。
処方せんに基づく医薬品の調製・法令・規則等の理解と遵守	法令・規則等を理解したうえで模擬処方せんを用いた調剤が適正に実施する。 模擬処方せんを用いて適正な医薬品調製を実施する。	具体的項目	□散剤調剤で賦形の適否が判断でき、適切に賦形できる。 □散剤分包で二度まき（重ねまき）の適否を判断でき、適切に分包できる。 □一包化調剤で一包化の可否が製剤学的に判断でき、適切に一包化調剤ができる。 □錠剤の分割・粉砕の可否が製剤学的に判断でき、適切に分割・粉砕できる。	□散剤調剤（一包化、粉砕を含む）で秤量から混和、分包までを淀みなくスムーズに実施できる。 □調剤時に適宜処方箋を確認し、清潔に配慮した調剤を実施できる。 □賦形や二度まき（重ねまき）の適否、一包化や粉砕の可否を意識しながら調剤する。	□散剤調剤で賦形ができる。 □薬包紙で散剤を分包できる。 □Vマス型分包機で散剤を分包できる。 □Vマス型分包機で一包化調剤ができる。 □錠剤を分割・粉砕できる。	□法令に基づいた薬袋が作成できる。 □散剤調剤における基本的操作（計量、混和）ができる。 □一般名処方に対応できる。 □分割・粉砕に必要な器具や機器を準備できる。

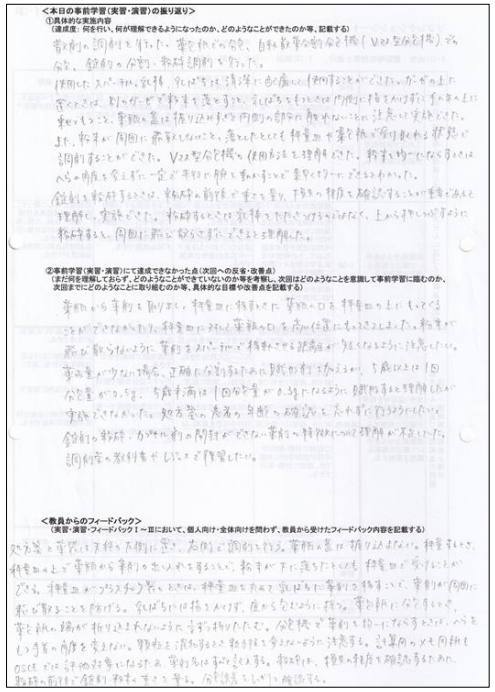
具体的項目について、「できた」項目が多数を占める段階（多数段階）に○をつける
ただし、1段階を飛ばして2段階、2段階を飛ばして3段階と学修の質が上がっていくことを前提としていますので、下の段階が未だ不十分と判断する場合にはその段階に○を付けないこと

自己評価　○

ピア評価者が具体的項目について評価した結果（多数段階に○）【評価者名：　】

ピア評価　○

（記入例）


<本日の事前学習（実習・演習）の振り返り>
①具体的な実施内容
（達成度：何をやり、何が理解できるようになったのか、どのようなことができたのか等、記載する）

②事前学習（実習・演習）にて達成できなかった点（次回への反省・改善点）
（まだ何を理解しておらず、どのようなことができていないのか等を考察し、次回はどのようなことを意識して事前学習に臨むのか、次回までにどのようなことに取り組むのか等、具体的な目標や改善点を記載する）

<教員からのフィードバック>
（実習・演習・フィードバックⅠ～Ⅲにおいて、個人向け・全体向けを問わず、教員から受けたフィードバック内容を記載する）

事前学習におけるフィードバック（全体と個別）

フィードバックⅠ（事前学習Ⅰ開始約1カ月後）

★全体フィードバック（各実習項目を担当した教員から全体に対して）

★担当教員による個別フィードバック（1年間担当する学生に対して）

- ・目指す薬剤師像や個人目標が記入されているか
- ・リフレクションシートが適切に記入されているか、ポートフォリオのチェック
- ・今後に向けた助言・注意　　等

フィードバックⅡ、Ⅲ （Ⅱ：事前学習Ⅰ終了時、Ⅲ：事前学習Ⅱ途中）

★全体フィードバック（同上）

★担当教員による個別フィードバック（同上）

- ・個人目標の達成度、次の個人目標等について
- ・リフレクションシートが適切に記載されているか、ポートフォリオのチェック
- ・今後に向けた助言・注意　　等

フィードバック（事前学習Ⅱ終了後のポートフォリオ返却時）

★担当教員による個別フィードバック（同上）

- ・目指す薬剤師像、実習に対する気持ちや個人目標等について助言・添削
- ・実務実習に向けた助言・注意　　等

事前学習の年間スケジュール（詳細）

2023年度 実務実習事前学習Ⅰ・Ⅱ スケジュール　　青字：5年生が参加する項目

月	日	曜日	前半クラス		後半クラス
			Aクラス	Bクラス	Cクラス
4月	7	金	ガイダンス［102PN／★CR★］大柳		
	10	月	疾患のSGD①〔演習〕［301A（集合場所）、301A前／★CR★］高野・岡本		
	13	木	疾患のSGD②〔演習〕［301A（集合場所）、301A前／★CR★］高野・岡本		
	14	金	SGDの発表（1）/副作用被害〔演習〕［201A／★CR★］高野・岡本		
	17	月	SGDの発表（2）〔演習〕［201A／★CR★］高野・岡本		
	20	木	医薬品情報〔演習〕［102PN］興村・杉山		薬局・来局者応対〔実習〕【動-7】【動-8】［106L］大柳・高野
	21	金	薬局・来局者応対〔実習〕【動-7】【動-8】［106L］大柳・高野		医薬品情報〔演習〕［102PN］興村・杉山
	24	月			
	27	木	無菌操作（準備）〔実習〕【動-6（注射剤混合・付録映像以外）】［107L］石川・杉山・岡田	地域医療〔演習〕［106L］小林・大柳	
	28	金	フィードバックⅠ［106L／出欠&名札着用のみチェック］大柳・石川・大本・野村・岡田・岡本・興村・杉山・高野・佐藤		

事前学習の年間スケジュール（詳細）

月	日	曜日			
5月	1	月	無菌操作（注射薬混合）〔実習〕【動-6（注射剤混合・付録映像）】［DI室（集合場所）、医薬品試験室、無菌室］岡田・大本・興村	セルフメディケーション〔演習〕［106L］坂野・大柳	病棟・初回面談〔実習〕【動-9】［103L］石川・杉山・岡本
	2 木曜授業	火		無菌操作（準備）〔実習〕【動-6（注射剤混合・付録映像以外）】［107L］石川・杉山・岡田	地域医療〔演習〕［106L］小林・大柳
	4	木			
	5	金			
	8	月	病棟・初回面談〔実習〕【動-9】［105L］石川・杉山・岡本	無菌操作（注射薬混合）〔実習〕【動-6（注射剤混合・付録映像）】［DI室（集合場所）、医薬品試験室、無菌室］岡田・大本・興村	セルフメディケーション〔演習〕［106L］坂野・大柳
	11	木	地域医療〔演習〕［106L］小林・大柳		無菌操作（準備）〔実習〕【動-6（注射剤混合・付録映像以外）】［107L］石川・杉山・岡田
	12	金	セルフメディケーション〔演習〕［106L］坂野・大柳	病棟・初回面談〔実習〕【動-9】［105L］石川・杉山・岡本	無菌操作（注射薬混合）〔実習〕【動-6（注射剤混合・付録映像）】［DI室（集合場所）、医薬品試験室、無菌室］岡田・大本・興村
	15	月	補習		
	18	木	TDM〔講義〕［301A／★CR★］多賀・高野		
	19	金	TDM〔実習〕［303PN／★CR★］高野		
	22	月		TDM〔実習〕［303PN／★CR★］高野	
	25	木	持参薬チェック〔実習〕【動-5（持参薬チェック）】［PTR（集合場所）、医薬品試験室］岡田・岡本	疑義照会〔実習〕【動-14】［105L］大本・小林	
	26	金	疑義照会〔実習〕【動-14】［105L］大本・小林	持参薬チェック〔実習〕【動-5（持参薬チェック）】［PTR（集合場所）、医薬品試験室］岡田・岡本	
	29	月	輸液〔演習（SGDを含む）〕［301A（集合場所）、301A前／★CR★］宮東・岡田		

事前学習の年間スケジュール（詳細）

6月	2	金	簡易懸濁〔実習〕 [PTR]毎田・興村・岡本	中心静脈栄養の調製〔実習〕 [医薬品情報室(集合場所)、無菌室]岡田・大本	
	5	月	水剤〔実習〕【動-3】 [107L 右奥]大柳・野村・佐藤	簡易懸濁〔実習〕 [PTR]毎田・興村・岡本	中心静脈栄養の調製〔実習〕 [医薬品情報室(集合場所)、無菌室]岡田・大本
	8	木	中心静脈栄養の調製〔実習〕 [医薬品情報室(集合場所)、無菌室]岡田・大本		簡易懸濁〔実習〕 [PTR]毎田・興村・岡本
	9	金	計数〔実習〕【動-1】 [PTR]興村・杉山	水剤〔実習〕【動-3】 [107L 右奥]大柳・野村・佐藤	軟膏〔実習〕【動-4】 [105L]高野・大本
	12	月	軟膏〔実習〕【動-4】 [105L]高野・大本	計数〔実習〕【動-1】 [PTR]興村・杉山	水剤〔実習〕【動-3】 [107L 右奥]大柳・野村・佐藤
	15	木	散剤、一包化・分割・粉砕〔実習〕【動-2】 [107L 右手前]大柳・岡本	軟膏〔実習〕【動-4】 [105L]高野・大本	計数〔実習〕【動-1】 [PTR]興村・杉山
	16	金			
	19	月		散剤、一包化・分割・粉砕〔実習〕【動-2】 [107L 右手前]大柳・岡本	
	22	木			セルフデバイス〔実習〕 [PTR]杉山・野村
	23	金	調剤薬監査〔実習〕【動-5(調剤薬監査)】 [105L]大本・岡田		散剤、一包化・分割・粉砕〔実習〕【動-2】 [107L 右手前]大柳・岡本
	26	月	院内製剤〔実習〕 [107L 左]高野・興村・佐藤	調剤薬監査〔実習〕【動-5(調剤薬監査)】 [105L]大本・岡田	
	29	木	セルフデバイス〔実習〕 [PTR]杉山・野村	院内製剤〔実習〕 [107L 左]高野・興村・佐藤	調剤薬監査〔実習〕【動-5(調剤薬監査)】 [105L]大本・岡田
	30	金		セルフデバイス〔実習〕 [PTR]杉山・野村	院内製剤〔実習〕 [107L 左]高野・興村・佐藤
7月	3	月	補習		
	6	木	フィードバックⅡ［301A(集合場所)、302A、303A／★CR★]大柳・石川・大本・野村・岡田・岡本・興村・杉山・高野・佐藤		
	7	金			
	10	月			
	13	木			

事前学習の年間スケジュール（詳細）

8月	29	火	医薬品の供給・管理〔演習(SGDを含む)〕 [201P、301P、402PN／★CR★] 岡本・興村・佐藤	
	30	水	安全管理〔演習(SGDを含む)〕 [201P、301P、402PN／★CR★] 岡本・杉山・佐藤	
9月	1	金	薬学・薬剤師を取り巻く諸問題〔演習〕 [301A(集合場所)、302A、303A／★CR★]高野、石川	薬局薬剤交付〔実習〕【動-12】【動-13】 [106L]大柳・岡本
	5	火	薬局薬剤交付〔実習〕【動-12】【動-13】 [106L]大柳・岡本	薬学・薬剤師を取り巻く諸問題〔演習〕 [301A(集合場所)、302A、303A／★CR★]高野、石川
	6	水	在宅での薬学管理〔実習〕【動-10】 [105L]石川・興村・大本	抗悪性腫瘍薬の調製〔実習〕 [PTR、無菌室]高野・野村・佐藤・岡本
	8	金	SOAP〔演習〕 [201P／★CR★]大柳	在宅での薬学管理〔実習〕【動-10】 [105L]石川・興村・大本
	12	火	抗悪性腫瘍薬の調製〔実習〕 [PTR、無菌室]高野・野村・佐藤・岡本	在宅での薬学管理〔実習〕【動-10】 [105L]石川・興村・大本
	13	水	病棟服薬指導〔実習〕【動-11】 [105L]石川・杉山・大本	SOAP〔演習〕 [201P／★CR★]大柳
	15	金	抗悪性腫瘍薬の調製〔実習〕 [PTR、無菌室]高野・野村・佐藤・岡本	SOAP〔演習〕 [201P／★CR★]大柳 / 病棟服薬指導〔実習〕【動-11】 [105L]石川・杉山・大本
	19	火		
	20	水	体調変化の確認〔実習〕 [105L]杉山・大本	配合変化〔実習〕 [106L]高野・大柳 / 多職種連携〔実習〕【動-15】 [104L]岡田・野村
	22	金	配合変化〔実習〕 [106L]高野・大柳	多職種連携〔実習〕【動-15】 [104L]岡田・野村 / 体調変化の確認〔実習〕 [105L]杉山・大本
	26	火	多職種連携〔実習〕【動-15】 [104L]岡田・野村	体調変化の確認〔実習〕 [105L]杉山・大本 / 配合変化〔実習〕 [106L]高野・大柳
	27	水	補習	

総合実習Ⅰ・Ⅱ

総合実習Ⅰで用いる症例は、本学の演習科目「臨床薬学Ⅲ（旧 医療薬学）」用に指導薬剤師の先生に作成いただいたものをベースとし、本学教員がアレンジしたもの

●総合実習Ⅰ

薬局／病院にける複数の場面において、定められた時間内に求められるパフォーマンスを連続で発揮できたか、教員から個別評価を受ける。

・薬局での場面：処方箋受付・患者応対 → 疑義照会 → 計数調剤 → 調剤薬監査 → 薬剤交付 → 薬歴記載

・病院での場面：病棟での初回面談 → 持参薬チェック → 医療従事者への情報提供 → 病棟での服薬指導 → 薬歴記載

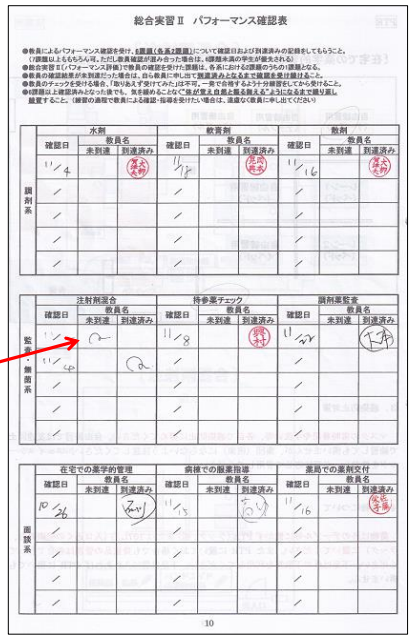
●総合実習Ⅱ

各実習項目で身につけたパフォーマンスの一つ一つについて、その精度を高め、より確かなものとするためのもの。
用意された課題について、定められた基準以上に到達したか、教員から個別評価を受ける。（偏りのない領域別9課題のうち、6課題以上で合格）

総合実習Ⅱにおいて教員から個別評価を受けたもの（例）

（例）
9課題全てについて教員から到達済みの印またはサインをもらった学生

（うち1課題は1回目に到達できなかったため、2回目で到達している）



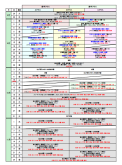
年間のスケジュール（詳細）

	29	金	総合実習Ⅰ（薬局・病院編）〔演習（SGDを含む）〕 ［301A（集合場所）、302A、303A／★CR★］ 大柳・岡田	
10月	3	火	（金沢医科大学人体解剖学習）	補習
	4	水	補習	（金沢医科大学人体解剖学習）
	6	金	総合実習Ⅰ（病院編）〔パフォーマンス評価〕 ［105L］大柳・石川・大木・野村・岡田・岡本・奥村・杉山・高野・佐藤・政氏・多賀・坂野・小林	
	10 月曜授業	火		
	11	水		総合実習Ⅰ（病院編）〔パフォーマンス評価〕 ［105L］大柳・石川・大木・野村・岡田・岡本・奥村・杉山・高野・佐藤・政氏・多賀・坂野・小林
	13	金		総合実習Ⅰ（薬局編）〔パフォーマンス評価〕 ［105L］大柳・石川・大木・野村・岡田・岡本・奥村・杉山・高野・佐藤・政氏・多賀・坂野・小林
	17	火	総合実習Ⅰ（薬局編）〔パフォーマンス評価〕 ［105L］大柳・石川・大木・野村・岡田・岡本・奥村・杉山・高野・佐藤・政氏・多賀・坂野・小林	
	18	水	フィードバックⅢ［301A（集合場所）、302A、303A／★CR★］大柳・石川・大木・野村・岡田・岡本・奥村・杉山・高野・佐藤	
	20	金	総合実習Ⅱ（自由練習） 大柳・石川・大木・野村・岡田・岡本・奥村・高野・杉山・佐藤・毎田	
	24	火	総合実習Ⅱ-課題①〔パフォーマンス評価〕 ［PTR、医薬品試験室、無菌室、107L］ （課題以外の時間は自由練習） 大柳・石川・大木・野村・岡田・岡本・奥村・高野・杉山・佐藤・毎田	総合実習Ⅱ（自由練習） 大柳・石川・大木・野村・岡田・岡本・奥村・高野・杉山・佐藤・毎田
	25	水		
	27	金	総合実習Ⅱ（自由練習） 大柳・石川・大木・野村・岡田・岡本・奥村・高野・杉山・佐藤・毎田	総合実習Ⅱ-課題①〔パフォーマンス評価〕 ［PTR、医薬品試験室、無菌室、107L］ （課題以外の時間は自由練習） 大柳・石川・大木・野村・岡田・岡本・奥村・高野・杉山・佐藤・毎田

年間のスケジュール（詳細）

11月	1	水	総合実習Ⅱ（自由練習） 大柳・石川・大木・野村・岡田・岡本・奥村・高野・杉山・佐藤・毎田	総合実習Ⅱ-課題①〔パフォーマンス評価〕 ［PTR、医薬品試験室、無菌室、107L］ （課題以外の時間は自由練習） 大柳・石川・大木・野村・岡田・岡本・奥村・高野・杉山・佐藤・毎田
	3	金		
	7	火	総合実習Ⅱ-課題②〔パフォーマンス評価〕 ［PTR、医薬品試験室、無菌室、107L］ （課題以外の時間は自由練習） 大柳・石川・大木・野村・岡田・岡本・奥村・高野・佐藤・毎田	総合実習Ⅱ（自由練習） 大柳・石川・大木・野村・岡田・岡本・奥村・高野・佐藤・毎田
	8	水		
	10	金	総合実習Ⅱ（自由練習） 大柳・石川・大木・野村・岡田・岡本・奥村・高野・佐藤・毎田	総合実習Ⅱ-課題②〔パフォーマンス評価〕 ［PTR、医薬品試験室、無菌室、107L］ （課題以外の時間は自由練習） 大柳・石川・大木・野村・岡田・岡本・奥村・高野・佐藤・毎田
	14	火		
	15	水	総合実習Ⅱ-課題③〔パフォーマンス評価〕 ［PTR、医薬品試験室、無菌室、107L］ （課題以外の時間は自由練習） 大柳・石川・大木・野村・岡田・岡本・奥村・高野・佐藤・毎田	総合実習Ⅱ（自由練習） 大柳・石川・大木・野村・岡田・岡本・奥村・高野・佐藤・毎田
	17	金		
	21	火	総合実習Ⅱ（自由練習） 大柳・石川・大木・野村・岡田・岡本・奥村・高野・佐藤・毎田	総合実習Ⅱ-課題③〔パフォーマンス評価〕 ［PTR、医薬品試験室、無菌室、107L］ （課題以外の時間は自由練習） 大柳・石川・大木・野村・岡田・岡本・奥村・高野・佐藤・毎田
	22	水		
	24	金	総合実習Ⅱ（自由練習） 大柳・石川・大木・野村・岡田・岡本・奥村・高野・佐藤・毎田	

ポートフォリオ（実務実習に持参するように指示しています）



スケジュール

個人目標等

リフレクション
シート

各実習で
用いた資料

各自の判断で
追加した資料

など

事前学習に関する
全ての資料が
綴じられています

ポートフォリオのファイルは学生が個々に準備

成績評価

● 実務実習事前学習Ⅰ（前期科目）

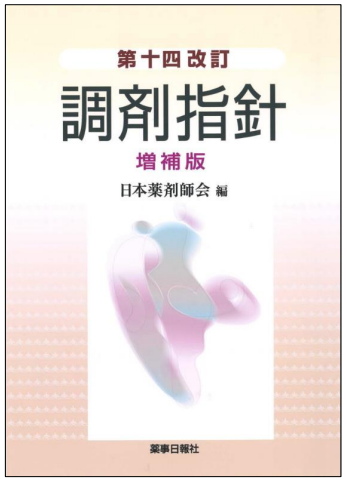
- ・ポートフォリオ　50%
- ・スモール グループ ディスカッション　40%
- ・身嗜み　10%

● 実務実習事前学習Ⅱ（後期科目）

- ・総合実習のパフォーマンス評価　40%
- ・ポートフォリオ　30%
- ・スモール グループ ディスカッション　20%
- ・身嗜み　10%

教科書

「治療薬マニュアル」、「第十四改訂 調剤指針 増補版」
を教科書に指定しています。



事前学習を終えた5年生が
下級年次の事前学習に参加しています

実務実習の開始時期が第Ⅱ期以降の場合、5年生は共用試験（OSCE、CBT）に合格してから実務実習開始までの間に能力（パフォーマンス）の低下が懸念されます。

そのため、能力が維持されているかを確認するため、下級年次の事前学習に参加して4年生に教育できるか（教育できる＝パフォーマンスは維持されている）を教員がチェックしています。

上級生が下級生を教育する方式は屋根瓦方式とも呼ばれ、上級生の教育能力の醸成に寄与します。また下級生にとっては、いずれ自分がどう成長していくのかが明確になるなど、上級生、下級生の双方にメリットがあります。

- 第Ⅱ期から実務実習を開始する学生 ･･･ 4月に事前学習に参加
- 第Ⅲ期から実務実習を開始する学生 ･･･ 4～6月に事前学習に参加
- 第Ⅰ・Ⅱ期に実務実習を終えた学生 ･･･ 9月に事前学習に参加

パフォーマンス評価について

パフォーマンス評価を行う際の考え方

『 何ができるようになったのかを評価する 』

実習が進むにつれ、実習生はできるようになったことが増えていく（能力が向上していく）ので、

→ できるようになったことと、概略評価の言葉とのつなぎ合わせを行ってください。

評価結果は「平均値」ではなく「中央値」で！

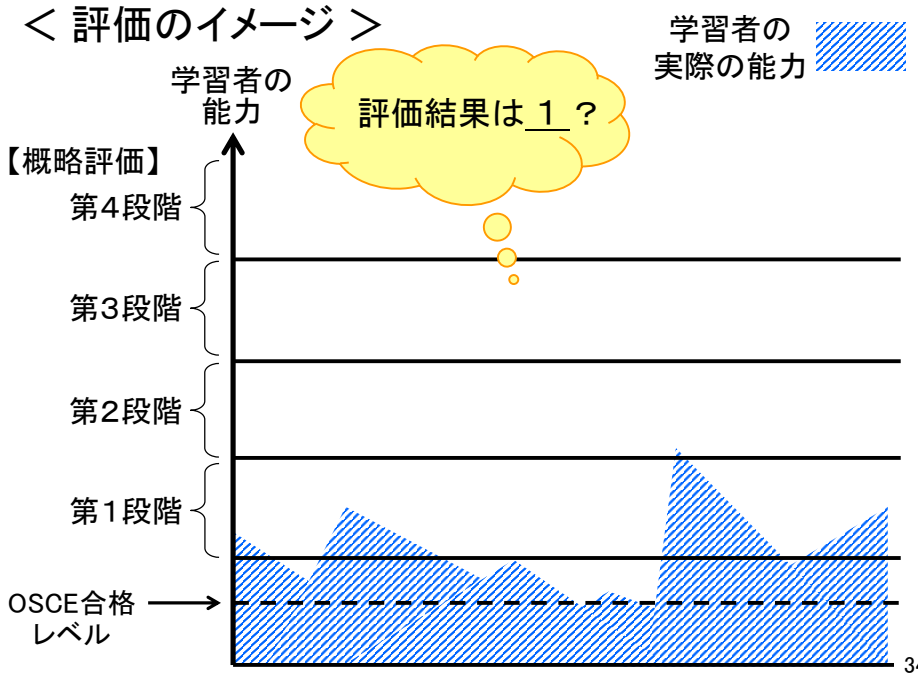
実務実習における概略評価表（ルーブリック）の段階について

評価の段階は4段階

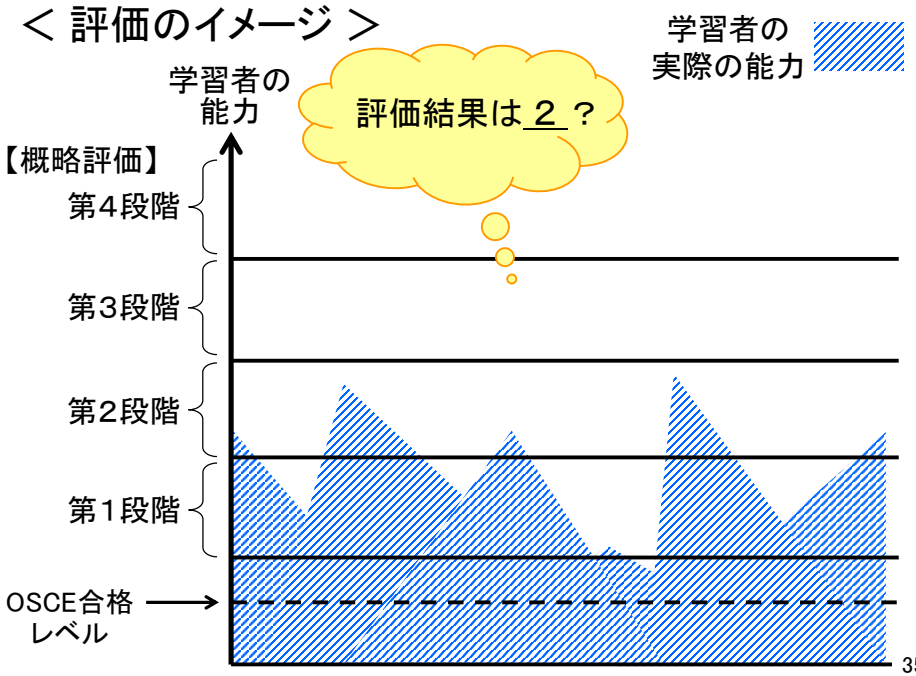
- 第１段階：大学での学習を確認し、医療現場で指導薬剤師の指導の下、実際に患者・来局者に対応ができる段階（実習開始から2～4 週間程度かけて到達するライン）
- 第３段階：第２段階を経て、薬剤師として医療現場で働くことができる基礎を身に付けた段階（実習中に到達すべき基本目標の段階）
- 第４段階：薬剤師の目指すべき使命を実現できる段階

薬学実務実習に関する連絡会議「薬学実務実習の評価の観点について（例示）」より

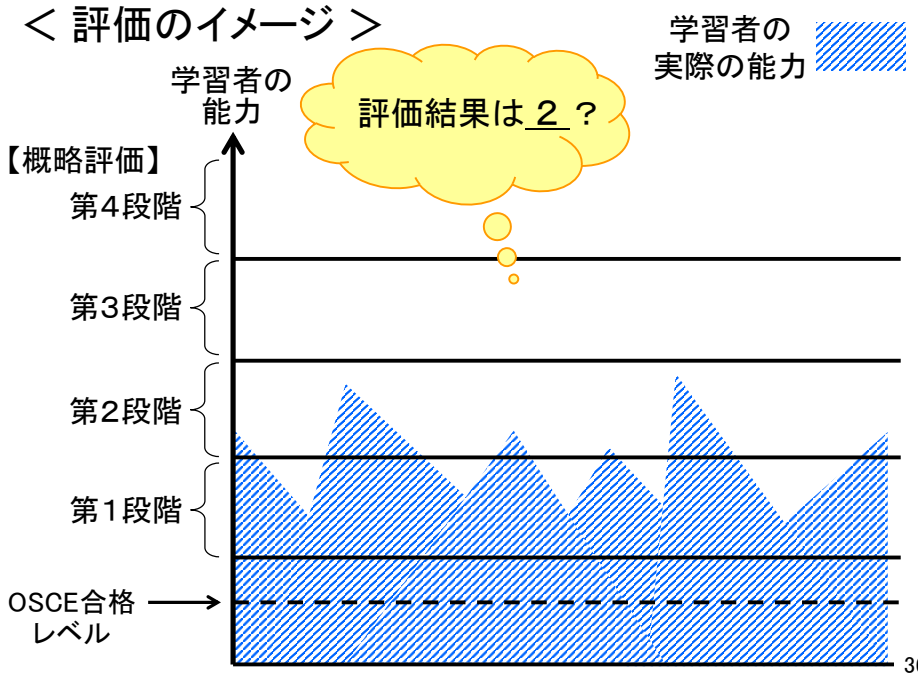
＜ 評価のイメージ ＞



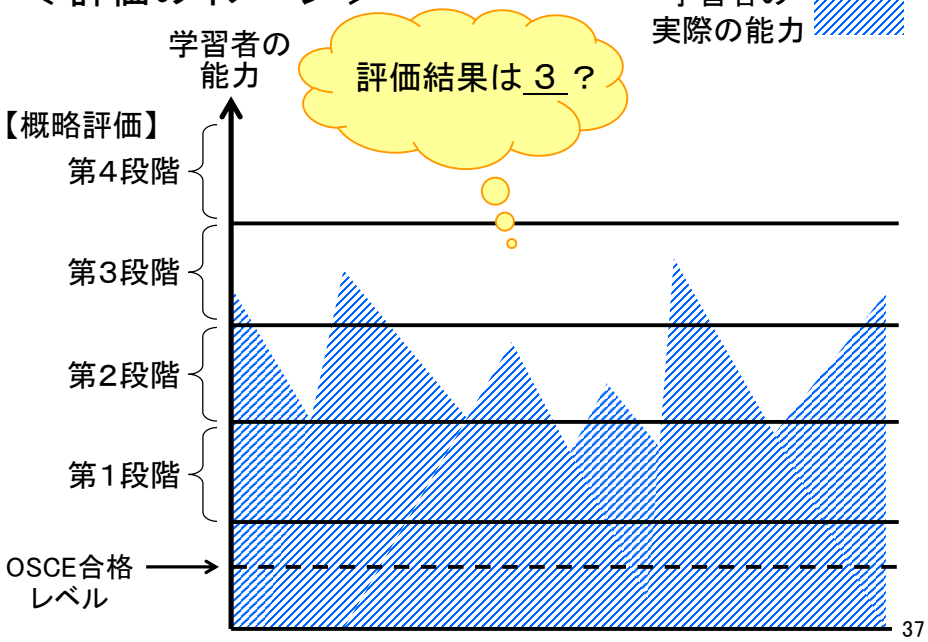
＜ 評価のイメージ ＞



＜ 評価のイメージ ＞



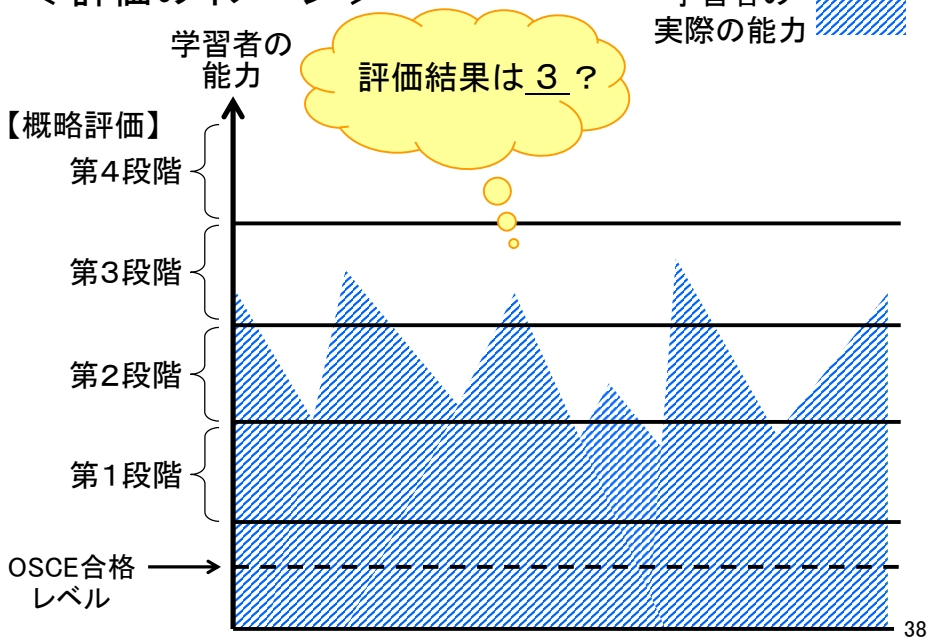
＜ 評価のイメージ ＞



評価に関するお願い

- 適切なタイミングで、かつ、繰り返しの形成的評価をお願いします
- 実習時間が十分に確保できなくても、複数回の評価をお願いします
- 実習できなかったので評価できなかった、ということがないようにお願いします

＜ 評価のイメージ ＞



評価に迷ったら･･･

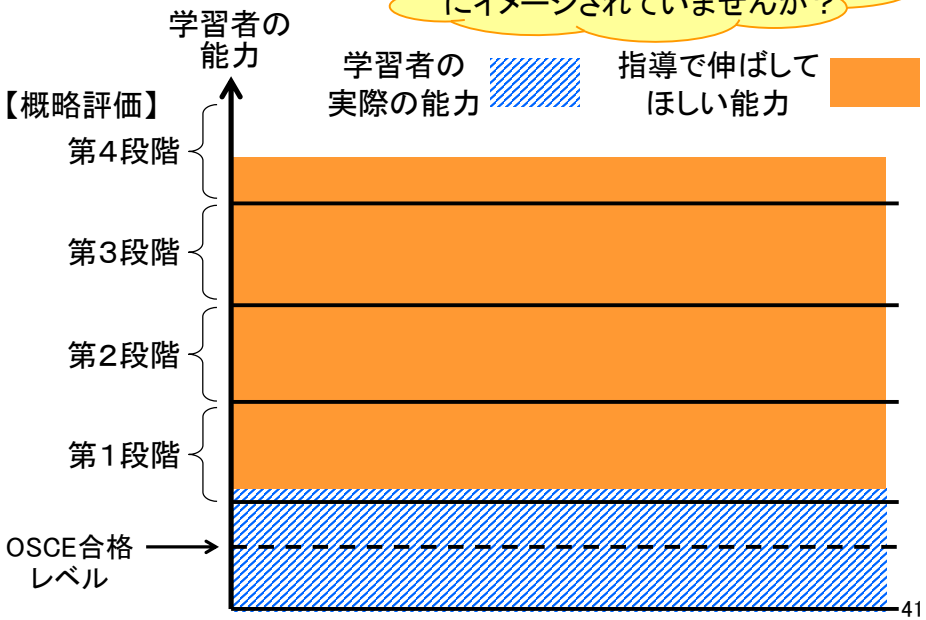
段階の境目（例：第1段階か？ 第2段階か？）で迷ったら、「エイッ」と決めてしまって構いません。

評価した段階（結果）も大切ですが、迷って第2段階とされたのであれば、どのようなことで迷ったのか、それがどのようであったなら迷わなかったかを実習生に伝えてください。

伝えられる内容は、実習生にとってまだ不十分なところですので、実習生は伝えられたことを踏まえて、以後の実習に臨むことができるようになります。

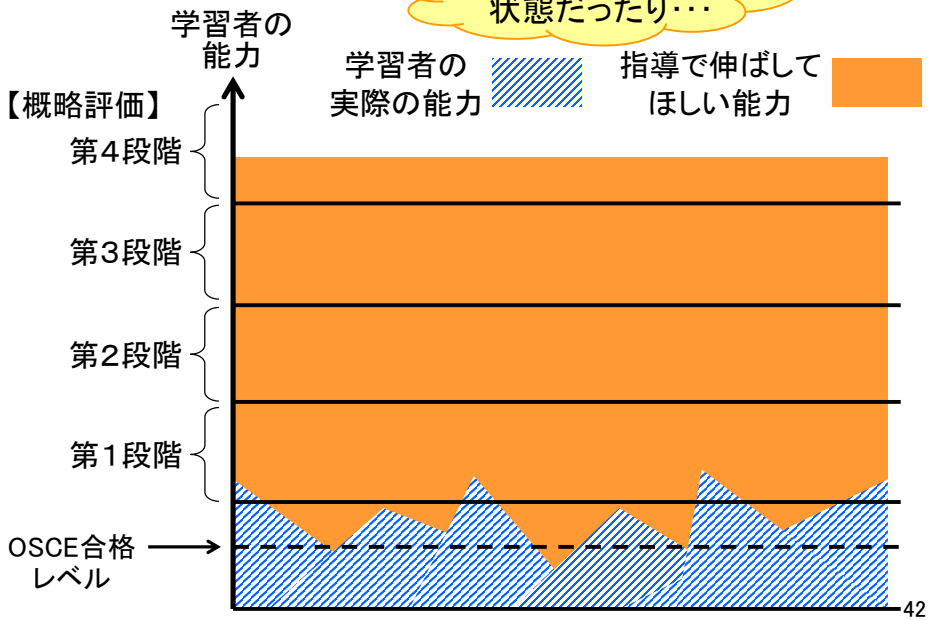
＜ 指導のイメージ ＞

実習開始にあたり、このようにイメージされていませんか？



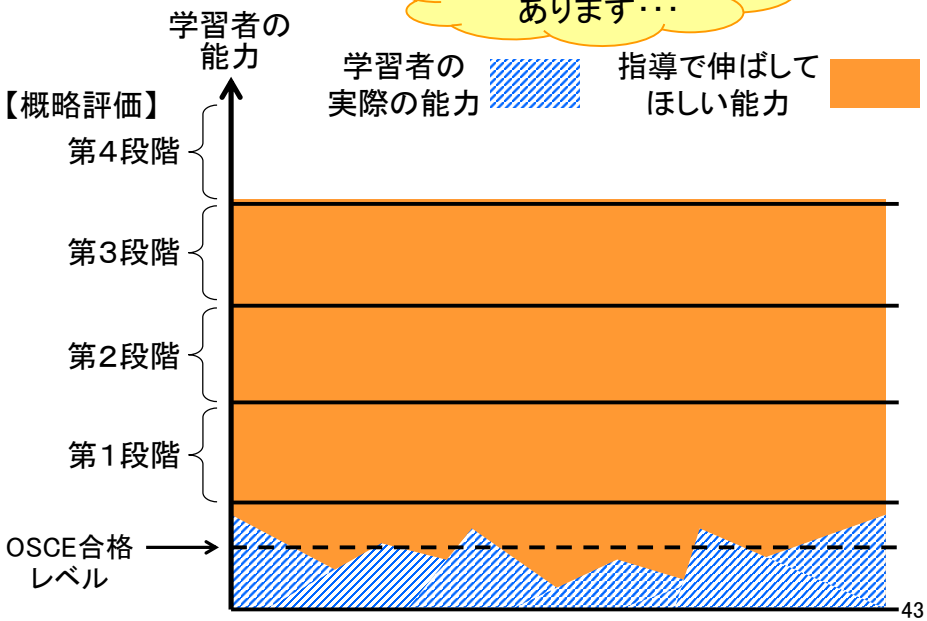
＜ 指導のイメージ ＞

実際はこのような状態だったり･･･



＜ 指導のイメージ ＞

このような状態もあります･･･



学習者個々の実際の能力（　の部分）、また成長のスピードも学習者によって異なりますので、それらに合わせてご指導をお願いいたします。
すなわち、学習者によってご指導いただく　の部分は異なるということになります。

この考え方は、患者個々の実際の病識・薬識、理解のスピード等に合わせて患者を指導（教育）していくことと本質は同じです。

車の運転免許取得に例えれば･･･

- 大学内での教育（事前学習等）
  教習所内での学科・技能教習
- 共用試験（OSCE、CBT）
  仮免許試験
- 薬局・病院での実務実習
  路上教習（指導薬剤師が助手席にいる）
- 薬剤師国家試験
  運転免許センターでの試験

ご清聴ありがとうございました